<table>
<tr><td colspan="3">リモートI／O変換器 *R5* シリーズ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取扱説明書</td><td rowspan="2">4～20 mA出力付
ディストリビュータ入力カード</td><td>形 式</td></tr>
<tr><td>R5－DS1A</td></tr>
</table>

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・ディストリビュータ入力カード 1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペックラベルで形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

● EC指令適合品としてご使用の場合

・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

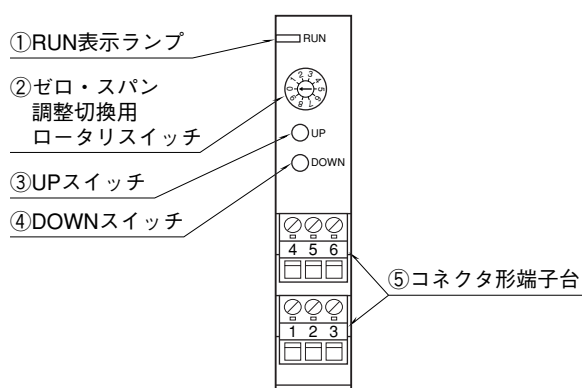
・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が-10～+55℃を超えるような場所、周囲湿度が30～90％RHを超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには10分の通電が必要です。

各部の名称

■ロータリスイッチの設定

設定番号	モード＊1	動　作	RUN 表示ランプ＊2
0（＊）	モニタモード	入力の％値を出力の％値として出力	赤／緑点灯
1	出力 0 ％調整モード	内部調整値を「1」ずつ変化	赤色点滅
2		内部調整値を「5」ずつ変化	
3		内部調整値を「10」ずつ変化	
4	出力 100 ％調整モード	内部調整値を「1」ずつ変化	緑色点滅
5		内部調整値を「5」ずつ変化	
6		内部調整値を「10」ずつ変化	
7	模擬出力モード	出力を　0 ％に固定	橙色点滅
8		出力を　50 ％に固定	
9		出力を 100 ％に固定	

（＊）は工場出荷時の設定

＊1、モニタモードから他のモードへの切換は、ロータリスイッチを各モードの設定番号に合わせた後に、UP／DOWN スイッチを押して下さい。モードが切換わります。モード切換と共に、RUN 表示ランプが記載の点滅に変わります。また、ロータリスイッチを「0」に合わすと、数秒後に自動的にモニタモードに切換わります。

●各モードの説明

・モニタモード
　入力の％値を出力の％値として出力します。

・出力 0 ％調整モード
　出力の 0 ％値を調整します。UP／DOWN スイッチにて調整します。出力値はテスタ等でご確認下さい。

・出力 100 ％調整モード
　出力の 100 ％値を調整します。UP／DOWN スイッチにて調整します。出力値はテスタ等でご確認下さい。

・模擬出力モード
　固定値を出力します。

●注意事項

・本器は危険防止のため、モニタモードで起動します。一旦、ロータリスイッチを「0」に合わせた後に各モードを選択して下さい。（「0」に合わせて 2 〜 3 秒お待ち下さい。）

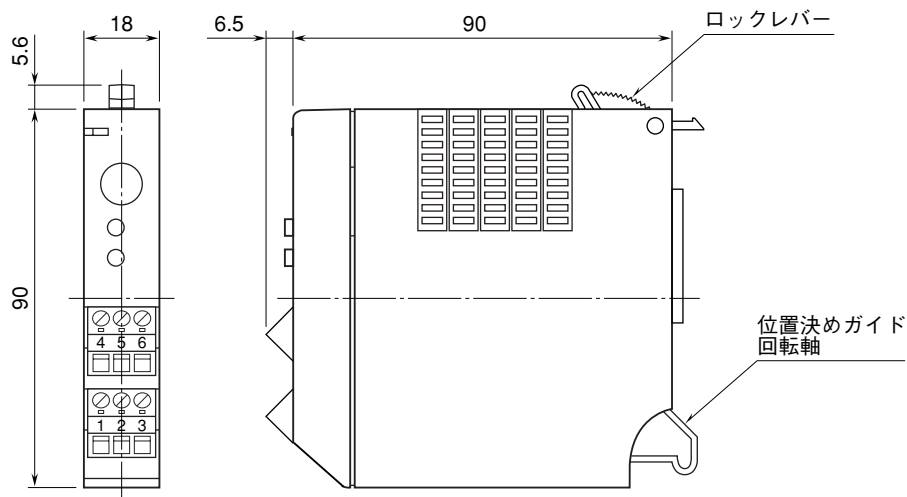
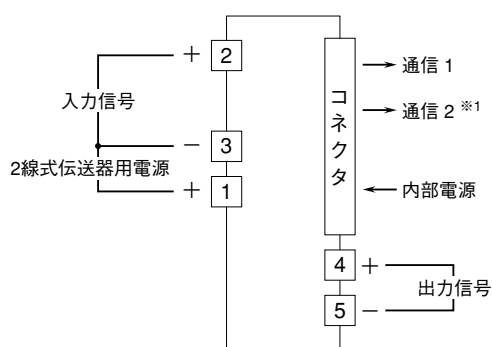
・調整後はメモリへの書込みのため、「0」に戻して下さい。

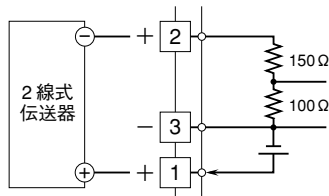
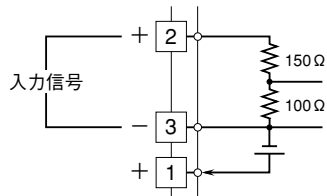
取付方法

ベース（形式：R5 − BS□）をお使い下さい。

接　続

各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）

端子接続図

※1、2重化通信形のときのみ付きます。

■ディストリビュータとしてお使いの場合

■アイソレータとしてお使いの場合

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。